

令和7年度 第1回 浜松市立平山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月21日（月） 15:00～16:25
- 2 開催場所 平山小学校 ひなぶ館
- 3 出席委員 山田善万、外山雅彦、清水広、浅野陽江、長坂和彦、磯田剛、山崎香央理、加藤良知、山崎仁也、森田佳津子
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校支援コーディネーター 樋田まさ系、中澤利仁
- 6 学 校 縣倫子（校長）、夏目浩敬（教頭）、久米満代（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 久米満代
- 9 副会長の指名 山田会長より外山雅彦委員を副会長に指名する旨の報告があった。
- 10 議長の選出 山田会長が、本日の議長および今年度中の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。
- 11 協議事項 （１）平山小学校運営基本方針・いじめ防止基本方針について
（２）「夢育やらまいか事業」意見書、教育課程について

12 会議記録

- ・司会の教頭から、委員総数10人全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
- ・新規委員任命書、学校支援コーディネーター委嘱所交付（教頭）
- ・浜松市学校運営協議会規則確認（教頭）
- ・前回会議録の確認（久米）
- ・令和6年度の協議会自己評価の確認と、令和7年度の重点取り組みの確認（教頭）後、熟議に入る。

熟 議

（１）平山小学校運営基本方針・いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から、本年度の各クラスの雰囲気・職員の紹介、学校運営基本方針・いじめ防止基本方針について説明がされた。その後、委員から下記の発言があった。

- ・いじめの当事者になった時、親の介入はどうしたらいいか？カウンセラーとの面談はどうなっているのか？（加藤委員）

→カウンセラーとの面談は、年に3回アンケートをとって、希望者に行っている。それ以外にも様子を見て個別に勧めている。いじめは、まずは双方の話を聞き包括的に考えている。家庭でも冷静に判断してもらいたい。（教頭）

→子供同士が、長い付き合いになるので、暗黙の了解が生まれ、かえって自分の気持ちが出せずに、弱ってしまうようだ。その時に「いやだ」「つらい」と言えて、相談できるようになってくれたら良い。家庭・地域でも、子供の様子を気に掛け、気が付いたら教えてほしい。「学校で先生に相談してごらん」と

声を掛けてくれるといい。カウンセラーについては、教員以外の人と話したほうがよさそうであれば、子供に勧めている。(校長)

- 校長の力強い話に同感した。素晴らしい学校になっていくと思う。(森田委員)
- 小規模校の良い事はたくさんあり、期待している。
- いじめ防止基本方針は浜松市の方針か、あるいは平山小学校独自の方針か？かなり手厚く、用意しすぎて「いやだ」と言えない温室育ちの子になってしまわないだろうか。(山崎仁也委員)
 - 浜松市内で足並みをそろえるようにしています。(教頭)
 - 子供たち自身に、解決する力が付くようにしたいが、どこまで子供たちに任せ、どこから大人が介入するか、さじ加減が難しい。大規模校と小規模校とでは、対応の違いはある。若手かベテランかでも対応は違う。土台となる共通認識として基本方針がある。(校長)
- 何かあった時、“学校に早く言ったもの勝ち”の傾向があると聞く。親が入るとこじれがちになる。どうしたらいいのか。(磯田委員)
- 親同士だけだと難しい。学校は、中立公平な対応をしてくれる。子供同士で解決できるといい。そんな指導も、してくれると思う。(山田会長)
- 少しの事で、すぐに学校に伝えるのは、どうかと思う。手厚い対応に危うさも感じ、難しいと思う。(山崎香央理委員)
- 近所の通学班では、人数は減ったが、残った子供がたくましくなった。卒業した中学生も、自転車通学時に通学班の子達へ「がんばれ！」と声掛けする光景を見て、ほのぼのとした。見守っていききたい。(浅野委員)
- 新規委員として、小規模校の良い事や課題を聞いて、先生方の負担が大きいと感じた。解決できたらと思う。(清水委員)(外山委員)
- 最近、工事のダンプカーの交通量が多いのが気になる。通学路や通学時間を避けてもらうわけにはいかないか。(磯田委員)(山崎仁也委員)
- 自治会として、工事車両の運行に十分注意するよう依頼しているが、再度依頼する。4月中には終わる予定だと聞いている。(清水委員)
- 事故の無いように配慮してもらいたい。(山田会長)
- 安全で笑顔で登校できるよう、地域の人間として声掛けしていききたい。(樋田CD)
- 児童数が減ったせいか、静かに登校している気がする。いじめは感じていない。(中澤CD)

(2)「夢育やらまいか事業」意見書、教育課程について

教頭より、夢育やらまいか事業の補助金申請について以下の説明があった。

①平山小ならではの活動として、自転車部活への支援を行う。

②地域人材の活用として、才の神学習やミカン栽培学習への支援を行う。

第3回運営協議会には、教職員も参加し、今後の活動について協議する。

(1) (2)の内容について、全員異議なくこれを承認した。

13 連 絡 事 項（教頭）

（１）今後の学校運営協議会の予定と、さくら連絡網への登録依頼

第２回 令和７年６月２０日（金）１４：３０～平山小応援団活動について

第３回 令和７年９月１９日（金）１５：００～教職員との協議

第４回 令和８年２月１３日（金）１５：００～本年度のまとめと来年度の取組計画

（２）連絡事項

①年度末に行われる令和７年度学校運営協議会自己評価の依頼

②独立 70 周年の取り組みについて

- ・資源回収の積立金を活用し、全戸配布の品を検討している。
- ・運動会の時、地域の方にも参加してもらう競技を予定している。
- ・昔の平山小を語ることができる話し手を探している。

③令和８年度の学校運営協議会組織について

ほとんどのメンバーが入れ替わりになるが、今までの議事の継続のため、数人は残ってもらいたい。